

事務事業名		高齢者クラブ育成支援事業			会計	一般会計				
課等名		介護高齢課			事業種別	政策	開始		終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり						
		施策	35	高齢者福祉の推進						
目的	対象(誰・何を)	65歳以上の住民			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	高齢者の生きがいづくり、健康づくりを図り、地域活動への参加し、地域の支え合いの担い手となる				市内在住の65歳以上の方の人数			29671	
	向上させたい上位施策の成果指標	近隣で支え合いができていない市民の割合								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	高齢者クラブ会員数/65歳以上人口*100			20.5	21				
	定性目標									
事業概要	<p>本格的な長寿社会を迎えた現在、「自立性、共同性、地域性」を基調として生きがいと健康づくり活動を実践し、又、クラブ会員相互の親睦を深め、地域活動にも積極的に参加することを目的として高齢者クラブが市内各地域で組織されている。地区単位の高齢者クラブ活動の支援と、高齢者クラブの連合組織の支援を行う。</p> <p>補助金交付先: 市内単位高齢者クラブ いいだシニアクラブ連絡会</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	<p>1 高齢者クラブに補助金を交付し、健康づくり活動、友愛・仲間づくり活動、ボランティア活動等の事業を支援。</p> <p>2 飯田市高齢者クラブ連合会は、4月23日に解散し、5月30日に緩やかな連合組織として新たにいいだシニアクラブ連絡会が発足。</p> <p>連絡会に加盟する高齢者クラブ数の増加を図る。</p> <p>3 いいだシニアクラブ連絡会の事務局を担当。</p> <p>4 高齢者クラブの活動支援の方策について検討を行う。</p> <p>市連絡会加入38クラブ(会員数50人以上の単高33クラブ 30~49人の単高4クラブ 20~29人の単高1クラブ) 会員数計 2, 516人</p> <p>未加入66クラブ(会員数50人以上の単高44クラブ 30~49人の単高13クラブ 20~29人の単高 7クラブ 10~19人の単高 2クラブ) 会員数計3, 718人</p>				<p>1 補助する高齢者クラブ数</p> <p>2 高齢者クラブ会員数</p> <p>3 (1) 連絡会加入クラブ (2) 連絡会未加入クラブ</p>			<p>1 104クラブ</p> <p>2 6,234人</p> <p>3 (1) 38クラブ (2) 66クラブ</p>		
	事業コスト					23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		5,840	6,087	6,087	6,592	(県)老人クラブ活動助成事業補助金(国1/3、県1/3)				
国庫支出金										
県支出金		2,786	3,172	3,172	3,343					
起債										
その他		126	39	0	38					
一般財源		2,928	2,876	2,915	3,211					
人件費計(千円)②		0		4,291						
正規職員所要時間				1,200						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		5,840	6,087	10,378	6,592					
事業内容・目標達成状況の振り返り	各単位高齢者クラブへの補助事業は、交付対象クラブの減がある一方、新規又は復活で補助金を交付したクラブがあった。連合組織の支援は、旧組織解散と新組織設立にかかわり、旧組織より構成団体数を増やして新組織が立ち上がった。事務局を担当し、活動支援を行った。									
改革改善の考え方	①問題点	補助金申請事務負担の軽減。会員数が減少し、クラブ運営に支障をきたす場合がある。								
	②改革提案	補助金申請事務では、必要に応じ各地区自治振興センターに協力依頼する。役員のなり手不足、新会員が入らない等の課題に対し、自治振興センター、まちづくり委員会等に呼び掛けて支援のあり方を検討する必要がある。								